TOPICS

授産商品販売拡大事業など県から3事業を受託し、活発な事業活動をしました。一方、会員事業所商品の販売や役務受注にも注力し、事業活動を拡大しました。

■振興センターが取り組みをした主な業務

平成30年度	通年	■奈良県の授産商品販売拡大事業を受託。事務局として実施内容の企画、運営を行う
		①はたらく障がい者応援フェアを４回開催　②事業力強化セミナーを3回実施
		③商品アドバイス会を4回実施
		■奈良県のスウィーツ甲子園奈良大会の運営を受託。イオンモール大和郡山にて選抜大会を開催
		■奈良県の農福連携事業を受託。事務局として農福の啓蒙活動と運営を行う
		①専門家派遣を3事業所に対して実施。②農福マルシェをイオンモール橿原で開催
		□振興センター直営Café２店（Café鹿都、Café香鈴都）でアンテナショップとして販売活動
		□共同販売窓口として卸売り事業を行う　概ね6～10事業所商品を販売
		①クラブツーリズム　②シャープ（2拠点）　③針テラス・つげの畑高原屋　④奈良県文化会館など
		□霊友会のバザー実施　９回開催　参加事業所は延べ47事業所
		□共同受注活動　紙箱組み立て作業の取次、剪定、除草業務の受注と会員事業所への発注　10件
		主なイベント
平成30年	５月	□「ならシニア元気フェスタ」の参加賞3000個納品。賑わいイベントに会員6事業所出店
		□大成紙業の除草業務受注　会員1社に発注
	6月	□奈良県土地開発公社の除草業務受注。会員事業所に発注
	７月	□はたらく障害者応援フェア「特選市」7/7～7/8　イオンモール高の原で開催
		□いってみい～ひん　サマーカーニバルに出店。11事業所の商品販売
		□商品力強化研修会　第1回「商品力を引き立てるブランディング」を開催
	９月	□はたらく障害者応援フェア「特選市」9/1～9/2　イオンモール大和郡山で開催
		□戦没者追悼式記念品の納品　5事業所の商品選定
		□五條市敬老会記念品の納入・市制60周年のロゴ入り特製タオルを納入。2事業所が参画
		□ならボランティアフェスタに出店　2事業所が出店
		□はたらく障害者応援フェア「特選市」9/29～9/30　イオンモール橿原で開催
		□商品力強化研修会　第2回「食品製造における品質管理と正しい表示について」を開催
	10月	□スウィーツ甲子園奈良大会　イオンモール大和郡山で開催　10事業所がエントリー　代表選出
		□個人宅から除草、選定業務を受注。1事業所に発注
	11月	□商品アドバイス会　北部会場　第1回　奈良市総合福祉センターで開催
		□オータムアミーゴフェスタに出店。10事業所商品を販売
		□商品力強化研修会　第3回「売れる商品開発の取組み」を実施
		□商品アドバイス会　パッケージデザイン　北部会場　奈良市総合福祉センターで第1回と第2回を開催
	12月	□商品アドバイス会　パッケージデザイン　南部会場　奈良県社会福祉総合センターで第1回を開催
		□桜井税務署　確定申告のポスター作成、納入
		□一般国道369号（大宮通り）の花壇の植栽事業を受注、3事業所で共働施工
平成31年	１月	□商品アドバイス会　パッケージデザイン　南部会場　奈良県社会福祉総合センターで第2回を開催
		□はたらく障害者応援フェア「特選市」を1/19～1/20　エコール・マミで開催
	2月	□農福マルシェを2/16～2/17　イオンモール橿原で開催。9事業所が出店
	３月	□各種イベントに出店　①市町村対抗子ども駅伝大会　②春咲コンサート　③福祉のおしごとフェア　他

障がいのある人の「働く」の支援に関するあらゆるご相談を承ります

はたらくならネット

特定非営利活動法人
奈良県社会就労事業振興センター
TEL 0742-93-3244　FAX 0742-93-3245
〒630-8114　奈良市芝辻町2－11－16
圭真ビル102
E-mail　narasc@samba.ocn.ne.jp
HP　URL　http://shinko-center.org

奈良県社会就労事業振興センター便り
2019年5月
13号

ぱ～とな～ず ぷらざ

平成３０年度事業報告特集

NPO法人
奈良県社会就労事業振興センター
〒630-8114 奈良市芝辻町2-11-16　圭真ビル102号
TEL:0742-93-3244　FAX:0742-93-3245
E-mail　narasc@samba.ocn.ne.jp
HP　http://shinko-center.org

会員事業所の営業業務のアウトソーシングに貢献

1. 花壇の植栽事業等役務事業…植栽や除草をおこなっています

平成30年度は初めて奈良県の土木事業「一般国道369号（M!・Nara前）の花壇の植栽事業を受注、3事業所に業務を委託し完工しました。業務は1日目は古い花の撤去と整地、2日目に花の苗の植栽で利用者は十数名が従事しました。奈良県では利用者の工賃の向上を目的の事業を推進中で、その事業の一環として実現したものです。

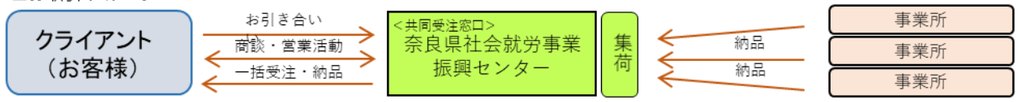
この活動は奈良県から「奈良県障害者支援施設等に準ずる者として「共同受注窓口」の認定を受けております

・除草等の業務も受注しています

■アウトソーシングとは業務の効率化図り、事業所の弱い部分を補うものです

アウトソーシングとは例えば、人材採用、給与計算、IT、総務などの業務を契約でその業務を専門とする会社に委託して効率化とコスト削減を図るビジネススタイルです。大手ではリクルートなど多数の会社があります。
弊センターではクライアントと日々折衝して信頼関係を構築する努力をしており、件名毎に参加事業所を募集して発注者に貢献する活動をしています。販売拡大には営業業務は重要ですが継続的な取り組みには業務量も多く経営的にも負担の大きいものです。会員事業所様は弊センターをアウトソーシング先として、ご活用ください。

■お取引のイメージ



2. イベント参加事業・・・クライアントの要望に対応して参加を募集。模擬店、ケータリング、職域販売をしています

市町村対抗子ども駅伝大会

福祉のおしごとフェア

損保ジャパン販売会

霊友会販売会（青年会館にて）

3. 常設販売事業・・・販売コーナを確保し仕入れた商品を販売しています（雑貨品は委託販売となります）…

奈良県文化会館・交流サロン

クラブツーリズム

奈良県社会福祉総合センター(SHOP香鈴都)

奈良市役所（Café鹿都）

新たな企画を加え授産商品販売促進事業を推進

平成30年度は過去3年に亘ったはたらく障害者応援プレミアム商品券発行事業が終了し、奈良県から新しい事業として「授産商品販売促進事業」が公募されましたので、過去の実績とノウハウを活かした提案で応募し、審査の結果委託を受けることができました。
この事業は「はたらく障害者応援フェア」と「商品力強化セミナー」「商品アドバイス会」の3本の柱から成りかなりの業務量を要するものでしたが、期中に「スウィーツ甲子園奈良大会」と「農福連携推進」事業の委託も受け、奈良県から3事業を受託することになりましたが運営の複合効果もあり、それぞれの事業運営に全力を尽くし無事遂行することができました。（主催は奈良県　弊センターは運営業務を担当）
また、会員事業所に貢献するべく、除草などの役務や優先調達関連受注、イベントへの出店など共同販売にも果敢に取組みをすることで弊センターの事業拡大を図ることができました。

[1]授産商品販売促進事業

障害者就労施設において生産される授産商品の販売会を開催するとともに、商品力・販売力の強化に関する研修会等を実施することにより、授産商品の品質及び認知度を高め、今後の販売拡大につなげることで障害のある人の工賃向上を図ることを目的に事業を推進しました。

1．はたらく障害者応援フェア「特選市」の開催

プレミアム商品券の事業が終了したためフェアのイベント性を強化するため「特選市」と銘打ち、４回開催、ウェルカムゲートの設置やプロのＭＣ(司会）によるせんとくとのじゃんけん大会などを取り入れた集客策で出店事業所の販売額を確保しました。
この応援フェアへは利用者も参加して販売が実感できることから出店意欲も高いものがありました。

開催日時	開催場所	出店数
平成 30 年 7 月 7 日（土）、8 日（日）	イオンモール高の原　平安コート	14
平成 30 年 9 月 1 日（土）、2 日（日）	イオンモール大和郡山　南小路コート	14
平成 30 年 9 月 29 日（土）、30 日（日）	イオンモール橿原　サンシャインコート	11
平成 31 年 1 月 19 日（土）、20 日（日）	エコール・マミ　セントラルコート	11

2．事業力強化セミナーの開催

販売拡大を図るために、基礎知識と実践的な実力向上を狙いとしたセミナーを開催しました。各テーマは事業所の販売拡大の基礎体力向上に重要な要素で、参加者は各々のテーマを真剣に聴講していました。この成果を普段の事業活動に活かしてお客様から「指名買い」をしてもらえる良い商品づくり・売れる商品づくりに生かして行くことが望まれています。

	開催日	テーマ	講　　師
第１回	7月27日	商品力を引き立てるブランディング	一般社団法人　里山デザイン 代表　國松　繁樹氏
		知財制度と商標の基礎知識	一般社団法人奈良発明協会 知財アドバイザー　尾崎　行則氏
第2回	10月3日	食品製造における品質管理と 正しい表示について	日本ラボテック株式会社 食品ユニット長　千葉　均氏 山口　大介氏
第3回	11月27日	売れる開発商品の取組み	（社会福祉法人）亀岡福祉会 所長　日下部　育子氏

※

農福連携事業とスウィーツ甲子園奈良大会も鋭意推進

[2]農福連携推進事業

農業分野での障害のある人の就労を支援し、障害のある人の職域拡大や工賃向上及び農業の支え手の拡大を図るため、農業の専門家派遣や販路拡大に向けた「農福連携マルシェ」を開催しました。

1．農場の専門家派遣・・・4事業所が参加、各テーマで指導を受け事業に反映しました

法人名	事業所名	指導回数	指導内容	アドバイザー
（社福）ふきのとう	ふきのとう	3回	農作物、いちじくの栽培	新田　晴行氏
（株）　サンケア	サンケアデイセンター	5回	ニンニク加工品開発	山内美陽子氏
（社福）青葉仁会	デリカテッセンイーハトーブ	1回	既存商品の改善	國松　繁樹氏
（社福）在友会	フレンズまきば　あぐり	5回	土壌改良	安堂　和夫氏
			農産物加工品開発	山内美陽子氏

2．農福連携マルシェの開催・・・農産物と加工品を販売。農福連携の啓蒙パネルも展示
農福連携は国の事業として推進されており、今後注目される事業のひとつでしょう

開催日	開催場所	出店数
平成31年2月17日（日）、18日（日）	イオンモール橿原　スターライトコート	10

[3]スウィーツ甲子園・奈良大会

奈良大会は平成30年10月13日にイオンモール大和郡山で開催。10事業所がエントリーし、お客様の投票と専門家4名の審査の結果グランプリと準グランプリを選出しました。

エントリー商品

※

3．商品アドバイス会の開催

商品をお客様から好感度を得られるようなパッケージデザインに改良する個別相談会を開催した。
デザインの基礎知識の講演の後、参加者は持参した商品の改善策を講師に納得いくまで相談していました。
講師の指導のポイントは「お客様目線」でどのように感じるか！という視点が重要との指導に感じました

・テーマ：販売を促進するパッケージデザイン　実践講座
・講　師：株式会社こふれ　代表取締役　北中　正紀氏

	北部会場	南部会場
第１回	平成 30 年 11 月 6 日（火）13:30～15:30	平成 30 年 11 月 15 日（木）13:30～15:30
第２回	平成 30 年 12 月 11 日（火）13:30～15:30	平成 31 年 1 月 15 日（火）13:30～15:30
会　場	奈良市総合福祉センター （奈良市右京 5-3-1）	奈良県社会福祉総合センター （橿原市大久保 320-11）
参加者	第１回　10　名　、第２回　8　名	第１回　6　名　、第２回　7　名